



ソリューション概要

AVEVA Data Hubで デジタルサービスを構築

オペレーションデータの価値を最大活用

今では多くのサプライヤー、機器メーカー、そしてサービスプロバイダーが、顧客のリアルタイムデータを活用してダウンタイムとメンテナンスコストを削減し、安全とコンプライアンスを確保しつつオペレーションを最適化しています。事業者にとっては、企業ネットワーク外のユーザーとリアルタイムデータをコスト効率よく安全に共有することが課題となっています。

クラウドの拡張性と柔軟性を最大限に利用できるクラウドネイティブな産業用データ管理ソリューションであるAVEVA Data Hubはこのような課題を解決します。AVEVA Data Hubは、メンテナンスも行うフルマネージド型software-as-a-Service (SaaS) です。ネイティブのクラウドソリューションとして、ユーザーや認定サービスプロバイダーに安全なブラウザーベースのデータアクセスを提供します。これにより、重要な測定値を収集して設備資産パフォーマンスのモニタリングに、現地にスタッフの派遣は不要となります。また、出張費の削減とリアルタイムデータの自動収集ができ、ヒューマンエラーのリスクも軽減されます。AVEVA Data Hubは、顧客のオペレーション状況に応じ柔軟なカスタムサービス開発の最適なデータ基盤です。

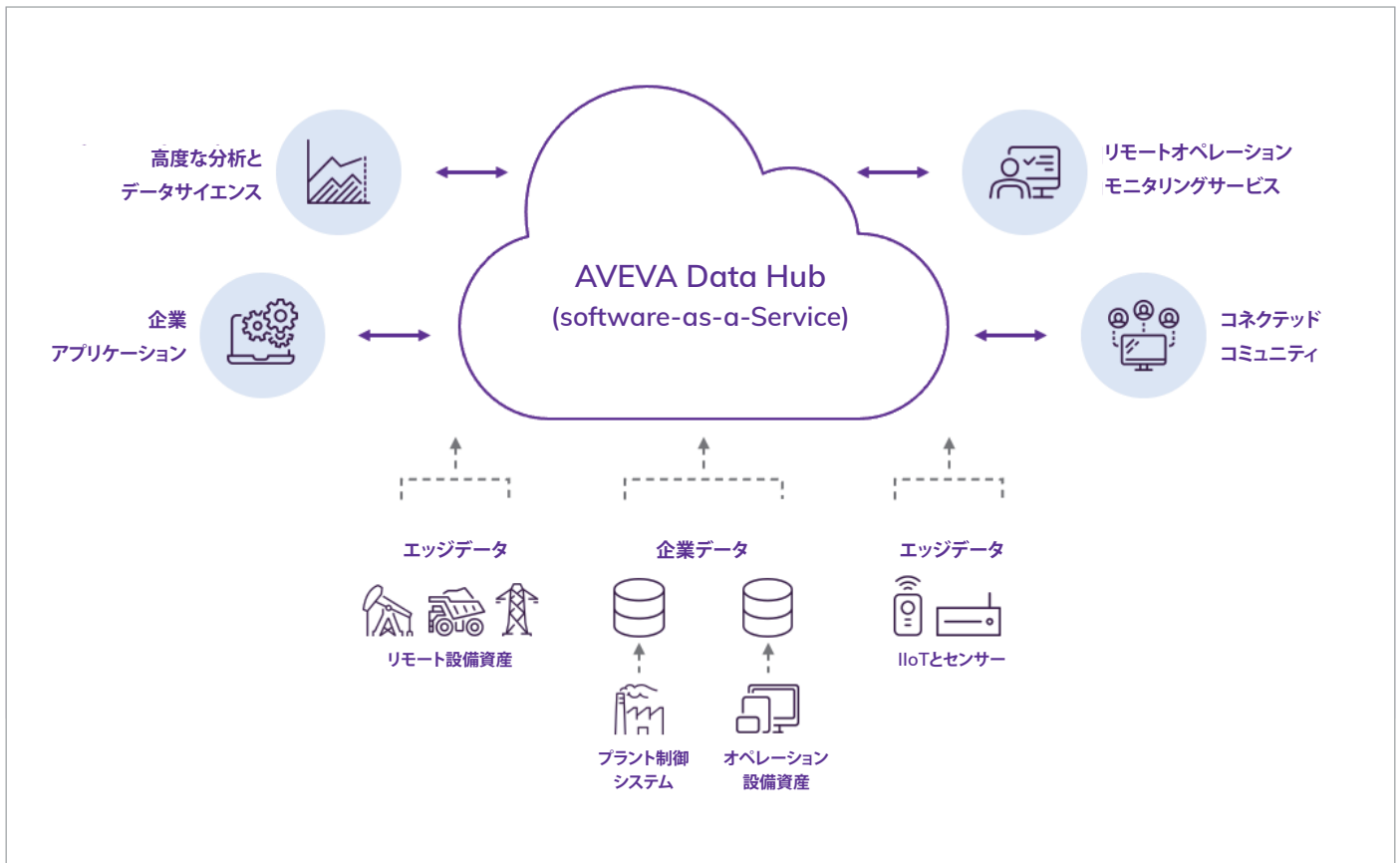


図1. AVEVA Data Hubが重要なオペレーションサービスデータを集約

新しい設備資産モニタリングモデル

産業機器は複雑で、装置を安定稼働させてダウンタイムを回避するには、モニタリングとメンテナンスが必要です。AVEVA Data Hubは、予兆保全サービスや稼働時間保証の基準として使用できる、リアルタイムのセンサーデータとパフォーマンス測定値を提供します。データをマニュアルで収集し、クレンジングも不要です。さらに現場の稼働状況に関する貴重なデータを取得し、将来の設計改善に役立てて顧客満足度を高めることができます。

安全なデータ共有で全員の認識を一致

AVEVA Data Hubは、Historianなどのデータプラットフォームやリモート設備資産、IIoT/センサー端末からリアルタイムデータを収集する、セキュアな中央データストアの役割を果たします。クラウドソリューションでは傾向線やデータビューを簡単に共有でき、すべての関係者が同じデータを同時に確認し、簡略化したコラボレーションを実現します。

柔軟なビジネスモデルで必要なデータを活用

AVEVA Data Hubは、必要に応じて拡張できる柔軟なサブスクリプションモデルで、セキュアなデータ共有をサポートします。顧客は、特定のリアルタイムデータをサブライヤーに簡単かつ迅速に提供でき、ヒューマンエラーリスクも軽減されます。データのマニュアル収集による遅延がなく、危険な現場にスタッフを派遣する必要もなくなります。サービスの開発コストを削減し、顧客にさらなる価値を提供できます。

「現在多くのビルオーナーが抱えている複雑な問題解決に、エンジニアリングと室内空気質 (IAQ) のデータを集約するクラウドプラットフォームにより、お客様に価値の高いリモート監視およびデータ分析サービスを提供できます」

Eric Bratton氏
CosaTron社COO



図2. AVEVA Data Hubが事業者とそのサプライヤーに重要なオペレーションに関するリアルタイムインサイトを提供

AVEVA Data Hubで価値実現時間を短縮

AVEVA Data Hubでは、次のような産業用コネクテッドサービスを構築できます。

- 既存のサービス内容へのリアルタイムオペレーションデータ追加、または新たなサービス創出
- 顧客とのコラボレーション強化
- 実際のリアルタイムパフォーマンスデータを使用した高度な分析
- 予知モデリングや状態基準保全など、データサイエンスのプロジェクトサポート
- 危険な環境での状況認識力向上
- 現地支援スタッフの効率向上と、高額なサービス要請の削減